

水溶性一時防錆剤

No.ケミクロン 1S



株式会社ケミコート

一時防錆剤とは

- ・ 作業工程中、保管、輸送などにおける短期間の防錆が目的で、塗装を行う前の短い期間に錆が発生するのを防ぎます。
- ・ ライン内停止用の防錆剤として使用できます。リン酸鉄スプレーライン停止の際（昼休み休憩時や稼働後翌日迄の放置）に、ライン内に止まってるワークの発錆を防ぎます。（噴霧配管等の追加設備が必要）
- ・ 水漏れ試験の場合、接液部に錆の発生を防ぎます。

表面処理工程例

1. 塗装前の一時防錆として使用

①脱脂➡②水洗➡③酸洗➡④水洗➡⑤防錆（No.ケミクロン 1 S）

2. ライン内停止防錆剤として使用

①脱脂➡②水洗➡③皮膜化成➡④防錆（No.ケミクロン 1 S）➡⑤ライン内停止

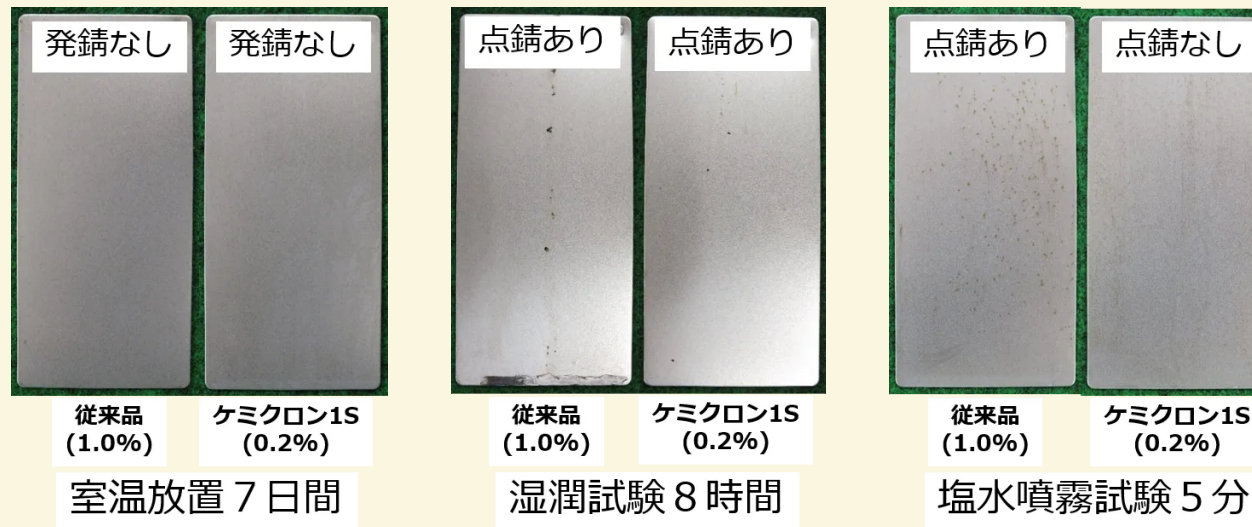
3. 水漏れ試験防錆剤として使用

①加工品➡②水漏れ試験（No.ケミクロン 1 S）

防錆性評価

従来の防錆剤との一時防錆性比較

処理工程：①脱脂→②水洗→③酸洗→④水洗→⑤防錆（浸漬処理）・・・各条件別放置

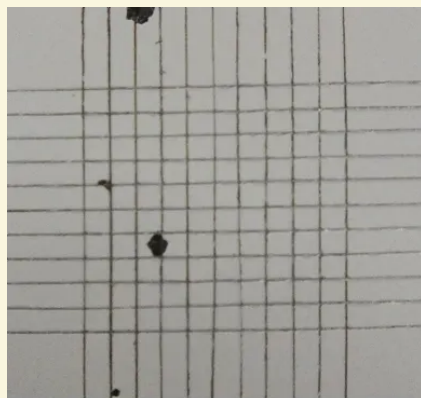


密着性評価

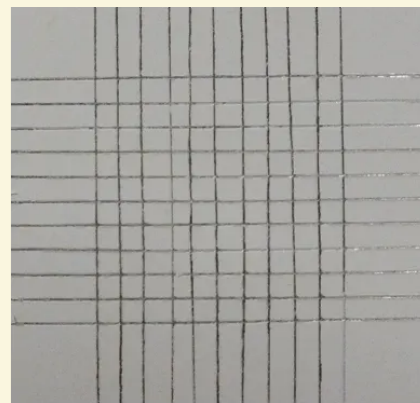
従来の防錆剤との二次密着性比較

処理工程：①脱脂➡②水洗➡③酸洗➡④水洗➡⑤防錆（浸漬処理）➡塗装（メラミン塗料）

塗装後、湿潤試験72時間後に碁盤目試験を実施。



従来品
(1.0%)



ケミクロン1S
(0.2%)

ライン内停止防錆性

ライン内停止防錆剤との比較

(脱脂・化成後の化成雰囲気での防錆性)

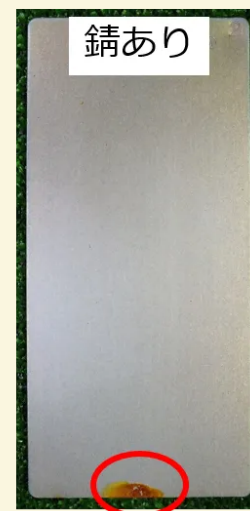
処理工程：①脱脂➡②水洗➡③皮膜化成（リン酸鉄）➡④防錆（スプレー処理）➡3日間放置



水道水
(ブランク)



従来品A
(0.2%)



従来品B
(0.2%)



ケミクロン1S
(0.2%)

使用方法

【建浴】

建浴量1000Lにつき	使用温度	処理時間
2 ～ 1 0 kg	常温～7 0℃	0.5～2 分

【管理方法】

管理項目	アルカリ度	pH
基準ポインド	4 ～ 2 0 pt	7 以上
1 ポイント上昇させるのに必要な 補給量 1 0 0 0 Lにつき	0.5kg	—

現場使用例（ライン内停止）

